

みんなで

考える



静岡の未来

静岡市のアセットマネジメント



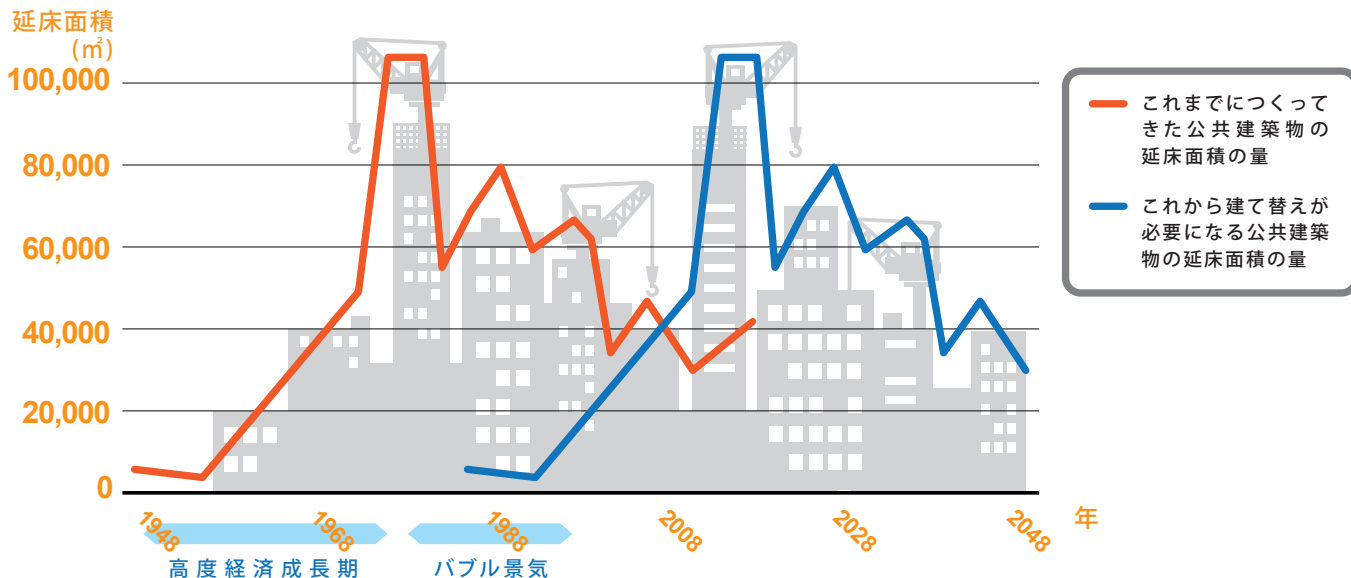
次世代につなぐ“まち”について
みんなで考えてみよう

老朽化が進む静岡市の公共施設

私たちの周りには、学校、図書館といった「公共建築物」や、道路、水道といった「インフラ資産」など、多くの公共施設が存在し、私たちの生活を支えています。

近年そうした公共施設の老朽化が目立ってきています。老朽化が進むとどのような問題があるのでしょうか。

そこでまず、これまでにつくってきた公共建築物の延床面積の量をもとに、これから建て替えが必要になる公共建築物の延床面積の量をグラフにしてみました。



公共施設の建設ラッシュ→40年後の建て替えラッシュ

1970年代の高度成長期、80年代のバブル期、そして90年代のバブル後の不況時の景気対策期を通じて、公共施設の建設ラッシュがありました。主な建築物としては、学校や市営住宅、図書館などがあります。

これまで、静岡市では概ね築後40年を目安に建て替えをしてきたことを考えると、近い将来、こうした公共施設の建て替えラッシュが想定されます。



あなたと公共施設との関わり

公共施設は、みなさんの日々の生活の中で密接に関わっています。

だからこそ、厳しい状況の中で、これからの公共施設のあり方をどう考えていくのか、みなさんとアイデアを出し合い、作戦を練っていかねばなりません。

それぞれのライフステージに応じて利用する公共施設



病院



幼稚園・保育園



小・中学校



スポーツ施設



生活を支える「見えない」公共施設



上水道



下水道

静岡市のアセットマネジメント3つの方針



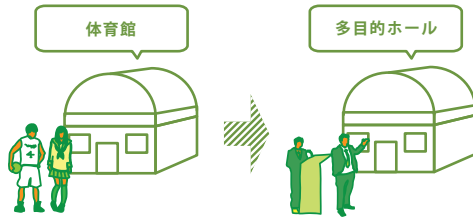
減築

施設を建て替える際に、利用状況等を考慮し、面積を減らすこと。



複合化

用途が異なる複数の施設を一つの建物にまとめること。



用途変更

これまでの用途を変更し、他の用途のために建物を使用すること。



廃止

施設機能そのものを廃止するとともに、建物自体も取り壊すこと。



総資産量の適正化

公共施設のあり方や必要性を、市民のニーズ、費用対効果などの視点から見つめ直し、適正な施設保有量を実現します。



長寿命化の推進

定期的な点検・診断に基づく計画的な維持修繕を徹底し、施設を長持ちさせることにより、長期にわたり安心安全に利用いただける施設を提供するとともに、財政的な負担の軽減と平準化を図ります。



民間活力の導入

民間企業などのノウハウやお金を積極的に取り入れるなど、役所と民間それぞれの役割分担を見直すことにより、財政的な負担の軽減とサービス水準の向上を図ります。

将来に明るい未来を残すために、アセットマネジメントに取り組みましょう!!



A市

シンポジウムやワークショップで自分たちの町の未来について考えて行動しました。

アセットマネジメントって大切なんですよ!!



今は困ってないけど、アセットマネジメントって必要なのかな?

B市

自分たちの町がこれからどうなるのか、未来について考えることをしませんでした。

子どもや孫に明るい未来を残したいよね。

子どもの数は減っているのに、学校ってたくさんあるんだ。空いている教室を有効活用できないかな？

学校の中に保育施設やデイサービスを設置したり、お店やイベントを開いたり、いろいろな使い方がありそうね。

公共施設ってたくさんあるんだね。全部を点検したり修繕するのは難しいね。どうしたらいいんだろう？

総資産量の適正化

どうしても建物を建て替える必要があるなら、今までのものよりコンパクトな建物にすれば維持費も安く済むのね。

隣町にも、うちの町にも体育館があるね。お互いに融通して使えば、1つ減らしてもいいかも？

体育館を減らす？えーっ、自分の町にも体育館がなくっちゃ困るんだから、残しておこうよ。

よく分からないから、今は何もしなくてもいいや。

道が凸凹してるけど、他にも直す所があるから、後回しで修繕すればいいか…。

老朽化の度合いや、施設の重要度を調査しましょう。順番を決めて計画的に修繕しますよ。

ずいぶん古い橋で歴史を感じるけど、日々の点検や技術革新のおかげで、今でも安全に渡れるよ。

長寿命化

広い道路、せまい道路、いっぱいあるけど、道路も優先順位をつけて管理してるんだ。

このままじゃ危ないのに、直すお金がないなんて…

えっ、あちこちの道路が壊れはじめてる!!

どうしよう、隣町もうちの町も、両方の体育館が壊れたなんて!!

この建物、利用する人が少ないね。思い切って別の施設にリニューアルしてみない？

図書館をカフェに？
コーヒーを飲みながら本が読めるなんていいね。

民間活力の導入

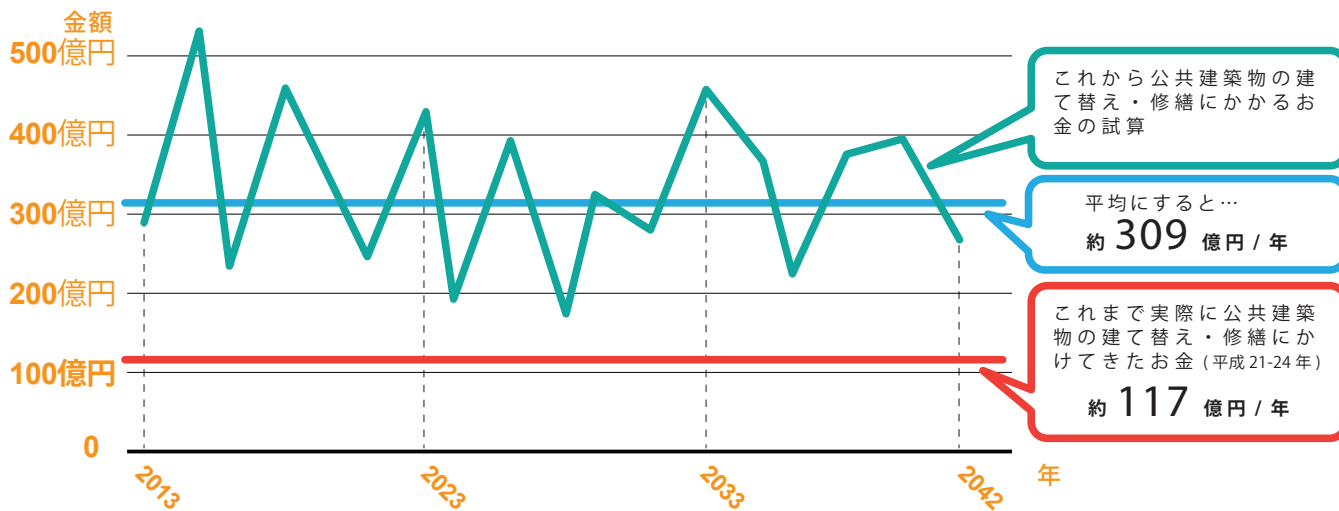
明治時代の建物をレストランにするなんてぜひたくね！

橋が壊れて
渡れないよ…

将来のことをもっとちゃんと考えて
おけばよかった…

静岡市の公共施設の未来をお金で見ると…

では、左グラフで見た今後の建て替え量をふまえ、これから公共建築物の建て替えや修繕にかかるお金を試算してみましょう。



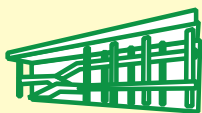
公共施設の建て替え・修繕費用の増大

施設が古くなれば、いろいろなところが壊れてきます。これをそのまま放置すれば利用するみなさんを危険にさらすことになります。そのため、施設を直したり、あるいは建て替えたりするのですが、それにはお金がかかります。一方、少子高齢化や税収の伸び悩みの影響で市の収入の大幅な増加は期待できず、今後全ての公共施設を維持し続けていくことが困難になると予想されます。

まちを形づくる公共施設



図書館



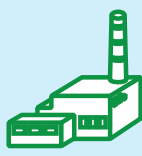
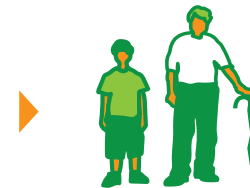
文化会館



生涯学習施設



養護老人ホーム



ゴミ処理場



市役所

静岡市アセットマネジメント基本方針の概要

目的

健全で持続可能な都市経営の実現

期間

平成26年度～平成55年度(30年間)

アセットマネジメントとは… 計画的に効率よく施設の整備や維持管理を行うことで施設の寿命を延ばしたり、利活用促進や統廃合をすすめることで将来負担の軽減を図り、都市経営上の健全性を維持していく手法。

公共建築物

インフラ資産

総資産量の 適正化

●保有施設を廃止、複合化、集約化、用途変更するなど、施設の保有総量の縮減に取り組みます。●施設の新設が必要な場合は、総量規制の範囲内で費用対効果を考慮して行います。●施設の廃止により生じる跡地については、原則売却します。

〈総延床面積の縮減目標〉
30年間で20%縮減(平成24年3月末比)

●インフラ資産の整備にあたっては、社会情勢やニーズを的確に捉え、かつ財政状況を加味し、中長期的視点から必要な施設の整備を計画的に行います。●整備や更新時には、長期に亘り維持管理がしやすい施設とすることで、経済性と合理性を追求します。

長寿命化の 推進

●計画的な維持修繕(計画保全)を推進し、施設を安全に長持ちさせます。●建替え更新時期の集中化を避けて歳出予算の平準化を図ります。

●施設ごとの特性を考慮した計画的な維持管理を行います。●ライフサイクルコストを考慮し、インフラ資産を安全に長持ちさせます。

民間活力の 導入

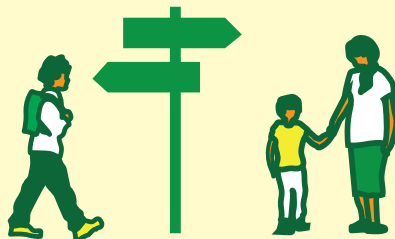
●官民の役割分担を明確にし、PPP/PFIなどの手法を用い、民間活力を施設整備や管理に積極的に導入します。

PPP:「パブリック・プライベート・パートナーシップ」の略称。官民が連携して公共サービスの提供を行う事業手法の総称。
PFI:「プライベート・ファイナンス・イニシアティブ」の略称。民間資金を活用し、設計施工運営を行う手法。

●研究機関や企業との連携を強化し、新技術や新制度を取り入れ、効率的な維持管理を可能にします。●PPP/PFIなどの手法を用い、民間活力を施設整備や管理に導入します。

START 2014～

アセットマネジメントを進めていくための手法は1つではありません。みなさんと一緒にいろいろなアイデアを出し合い、最善の「選択」をしていくことが必要です。そうした取り組みをスタートするために、「静岡市アセットマネジメント基本方針」をつくりました。豊かな地域社会を次世代に引き継いでいくためにはどうすればよいのか、一緒に考えていきましょう。



詳しくはこちらをご覧ください。
〈静岡市のアセットマネジメント関連 web ページ〉

静岡市 アセット

検索

発行 静岡市 公共資産経営課